

# 「公民連携・既存ストック有効活用による地域活性化に関する

## 調査研究事業報告書」(概要版)

### 第1章 調査研究事業の目的

人口減少や高齢化、人口密度の低下に伴い地方都市の「まちなか」を中心に都市機能が失われ、賑わいの喪失、コミュニティ活動の停滞等の問題が深刻化しており、こうした「まちなか」の機能喪失は、周辺圏域の暮らしの機能をも低下させている。

本事業は、こうした状況下で、地域やコミュニティの活性化のため、コミュニティをはじめとする民間部門と行政の連携により、公共公益施設や店舗、住居などの既存ストックを有効活用することを通じて、「まちなか」を活性化する方策を調査研究することを目的としている。

### 第2章 事業運營業務

「まちなか」の活性化のための知見を集めるため、5名の有識者からなる「公民連携・既存ストック有効活用による地域活性化に関する研究会」を開催するとともに、各委員へのロングインタビューを実施した。

加えて、6団体を選定して、以下のとおり「公民連携・既存ストック有効活用による地域活性化に関する調査研究のモデル事業」を実施した。

代表団体	事業名称	事業概要
社団法人石巻観光協会	石巻の地域資源を有効活用した生鮮マーケット整備調査事業	地産地消の飲食店を含む市民の買い物環境の整備に向けた調査
特定非営利活動法人 NPO みなとしほがま	(仮称) 地域資源(歴史的建造物など)を生かした地域活性化プロジェクト	歴史的建造物を活用した交流拠点の場の創出
一般財団法人富士吉田 みんなの貯金箱財団	みんなでつくる「まちなか」拠点	旧市街地の空き家を活用した地域活動の拠点の創出
富山市八尾山田商工会	八尾スタイル滞在体験型まちづくり実証事業	空き家・空き店舗を活用した滞在型観光プログラムの実証実験
伊賀市	「初瀬街道のまち安保」まちなか活性化モデル事業	古民家を活用した地域活動の拠点の創出
NPO 法人いき交流文化 デザイン研究所	空き店舗を利用したコミュニティ形成	市民が自ら地域資源を発掘するためのワークショップの開催

### 第3章 調査分析業務ー「まちなか」活性化ロードマップ

有識者のロングインタビューをもとに、「まちなか」活性化に向けた考え方や取組み方を『「まちなか」活性化ロードマップ』にまとめた。

ロードマップでは、人を「まちなか」に誘い出す仕組みをつくること、地域内に経済循環をつくること、外部経済を取り込むこと、「まちなか」という特定の地域へ注力することといった考え方を重視しつつ、「まちなか」活性化に向けた各段階の取組み方の目的と手段を整理している。